

趣旨

- 医療法人泰一会西部町田病院（仮称）への病床配分については、令和5年3月29日開催の東京都医療審議会に報告したところ、再度、地域医療構想調整会議で議論することとされた。
- 今般、あらためて地域医療構想調整会議等において議論を重ねたことから、報告を行う。

これまでの経過

令和4年9月30日 医療法人泰一会が都へ事前相談計画書を提出

町田市相原町に西部町田病院（仮称）の新規開設を計画

病床数：一般病床200床（急性期病床130床、回復期病床70床）

診療科目：整形外科、内科、外科、脳神経外科、麻酔科、リハビリテーション科

令和5年1月5日 地域医療構想調整会議 町田市分科会

- ・医療法人泰一会が病院の新規開設計画を説明

同年1月23日 地域医療構想調整会議（南多摩）

- ・医療法人泰一会が病院の新規開設計画を説明

同年3月6日 町田市からの意見（都の意見照会に対する回答）

同年3月27日 八王子市医師会病院部会（臨時会）

- ・医療法人泰一会と八王子市の医療機関との意見交換

同年3月29日 東京都医療審議会

- ・地域医療構想調整会議における協議状況及び病床配分案を報告

同年5月12日 地域医療構想調整会議（南多摩）

- ・医療法人泰一会が改めて病院の新規開設計画を説明

会議体等における主な意見等

地域医療構想調整会議 町田市分科会<令和5年1月5日>

病床配分申請について協議し、反対の意見はなかった。

（調整の結果）

- ・町田市内含め近隣地域の病院・診療所から看護師等スタッフの引き抜きをしないことを確認
- ・救急患者の受け入れ等、町田市内の救急医療体制と足並みを揃えることを確認
- ・地域医療に貢献するため、町田市医師会・町田市の業務に協力することを確認
- ・専門分野だけでなく自院患者の状態変化に対応できるような体制づくりを要望

地域医療構想調整会議（南多摩）<令和5年1月23日>

病院の開設に関し、隣接市（八王子市）の医療機関と意見交換を行うこととされた。

町田市からの意見（都の意見照会に対する回答）<令和5年3月6日>

- ・町田市相原地区には医療機関が少ないことから、地区の住民からは複数年度にわたって「医療体制の充実」を求める意見をいただいている。
- ・相原地区では災害発生時の傷病者の医療救護に課題が残されている。
- ・相原地区における病院開設は、地域医療の充実や災害時対応の面からみて、非常に有益である。

南多摩圏域における病床配分について

八王子市医師会病院部会（臨時会）〈令和5年3月27日〉

【八王子市の医療機関の意見】

- ・相原地区は八王子市に近接する地域であり、病院開設の影響は大きい。
- ・八王子市内の急性期医療は既に十分に整備されていると認識している。開設するのであれば、不足する分野を担ってほしい。
- ・近隣地域の既存の医療機関から採用を行わなければ医療人材を確保できないのではないか。

【医療法人泰一会の回答】

- ・八王子市の医療機関ともしっかり連携していきたい。
- ・町田市を含め、地域で不足する医療を可能な限り提供していきたい。
- ・法人内別病院スタッフの配置転換を基本とし、地域の既存の医療機関から採用は行わない。

東京都医療審議会〈令和5年3月29日〉

再度、地域医療構想調整会議で議論し、医療審議会に報告することとされた。

地域医療構想調整会議（南多摩）〈令和5年5月12日〉

【町田市の意見】

- ・町田市相原地区には医療機関が少ないことから、複数年にわたり住民から病院開設の要望があり、病院開設は、地域医療の充実や災害時対応の面からみて、非常に有益である。

【八王子市の医療機関の意見】

- ・八王子市医師会としては、病院開設に反対の立場。開設予定地は八王子市に隣接しているが、整形外科に関して不足はないとの認識であり、患者や医療スタッフの取り扱いなど、過度な競争を危惧
- ・南多摩圏域は自己完結率が都内でも低いが、八王子市の救急医療はかなり連携が取れている。

【医療法人泰一会による補足説明】

- ・急性期130床のうち、65床は地域のニーズに合わせて必要とされる医療提供を検討
- ・急性期35床で開設し、1年6か月間程度かけて50床、135床、200床と段階的に病床を開設していく。
- ・病院運営では近隣病院との連携が大切と考えており、町田市医師会をはじめ近隣の医師会とも連携を取っていきたく考えている。最終的には南多摩医療圏で連携関係を構築し、一緒に地域医療の向上に努めていく所存
- ・地域に不足している医療提供について、開放性骨折や小児の外傷については受入
- ・救急患者については、保険の種類や年齢等に関わらず受入
- ・災害時には医療救護所開設など、町田市の地域防災計画に協力
- ・感染症対応の病床整備を行うとともに病院敷地をPCR検査会場として提供
- ・病院開設時は法人の他施設で育成した人員を中心に配置。地域の医療機関に影響を及ぼさないよう採用方法や給与水準には十分配慮

【町田市からの追加説明（後日）】

- ・相原地区には医療機関が少なく、特に小児科や夜間の小児診療機能を持つ医療機関設置の要望を受けている状況であり、医療体制の拡充が課題である。
- ・相原地区に災害時に医療を提供できる病院が存在しないため、発災時における傷病者の医療救護が課題である。これら2つの課題を解決することが可能な医療機関を求めている。

○ 西部町田病院（仮称）への病床配分（200床）にあたって以下の意見を付す。

意見（案）

開設に当たっては、地域での関係構築に向け、地元市、地元医療機関等と事前に十分な協議を行い、理解を得るようにすること。